

## 就任ご挨拶

### 0. はじめに

本年6月より道央技術士委員会の代表に就任いたしました。どうぞよろしくお願い致します…。

ご大層なタイトルとともに、書き始めたのですが、ご挨拶と所信表明だけでは、どう考えても、巻頭言の紙面が埋まらないことが、すぐに明らかとなりました。大変恐縮ですが、就任のご挨拶ならびに「雑感」として、ご容赦いただければ幸いです。

### 1. 図らずも…

前任の永澤代表の下で、幹事長を4年間しておりました。道央技術士委員会は小規模な地方委員会です。しかし、幹事団のチームワークが良く、とてもよい雰囲気でしたので、「この体制がずっと続けばよいのに…」と思っていましたが、諸事情により、今回の交代となりました。いつかは交代の時期が来ることを、認識していたのですが、居心地の良い環境下で現実逃避をしていたせい、か、「まさか、この私が、代表として巻頭言を書くことになるとは！」というのが、現在の正直な気持ちです。

### 2. 道央技術士委員会について

日胆地区を対象とし、主に、室蘭・苫小牧に在住する技術士および技術士補で構成されています。

年2～3回程度の施設見学会・講演会が活動の中心です。室蘭・苫小牧はともに大きな工業地帯を有しているためか、積極的に新技術や新たな試みに取り組む自治体・企業が多く、そのご厚意により、有意義な施設見学会や講演会をさせていただいております。ただし、日胆地区特有の札幌に近い立地条件のせい、か、会員諸氏の地方委員会への帰属意識は、やや希薄な部分があるように感じています。

田中雄太(たなか ゆうた)

技術士(建設/総合技術監理部門)

公益社団法人日本技術士会

北海道本部

道央技術士委員会 代表

株式会社タナカコンサルタント



### 3. 若手技術者の不足・会員の拡大

本来、この2つのテーマを同列に扱うべきではないと認識しています。しかし、ご多聞にもれず、日胆地区においても若手技術者不足は深刻で、技術士に限った話ではなく、建設・農業・機械・化学・運輸などの業種において、ほぼ同様の課題を抱えていると感じます。解決の難しい問題であり、我々のできることは限られているのですが、地方委員会の存在理由として、「会員拡大活動を通じた若手技術者不足の解消」に少しずつでも取り組んでいきたいと考えています。特に、地元の学生向けの活動では、青年技術士交流委員会および技術者のミライ研究委員会の皆さまにご協力をお願いしているところです。

### 4. おわりに

この原稿を書いているのは2017年8月23日で、実は締切日です。それにもかかわらず、つい、先ほどまで青年技術士交流委員会の「青年技術士の起業家から学ぶ」を聴講していました(広報委員会の皆さま、申し訳ありません)。その詳細については、ここでは触れませんが、演者お二人のお話から感じたのは、たとえば、経営者であろうとも、技術者である以上は、その技術を活かし、人生とともにそれを楽しむ道を選ぶということ。これは、技術者・経営者の端くれとして、独楽鼠のように走り回っている私にとって、実に深く考えさせられるなお話でした。

そもそも、地方における若手技術者不足の解消とは、労働環境の改善を図るとか、高度な技術な意義や達成感を説くのではなく、まずは、技術者としての豊かな生き様を示す必要があるのではないかと。

さきほどから、そんなことを考え始めています。